



生誕80周年記念 藤子・F・不二雄展

7月18日いよいよ開幕！

会 期：平成27(2015)年
7月18日(土)～9月6日(日)
会期中無休

開館時間：9:00～17:00

※金曜日は20:00まで ※入館は閉館30分前まで
※7月18日は10:00開場

料 金：一般 1,200円 (1000円)
高・大学生 1,000円 (800円)
小・中学生 600円 (400円)
※()内は前売・20名以上の団体料金



- JR広島駅より約1km ● 広島城より約400m
- 市内電車(「八丁堀」で乗り換え)白島線で「縮景園前」下車20m
- ひろしまめいぶる〜ぶ(市内循環バス、JR広島駅新幹線口のりば発着)「県立美術館前」下車(白島線沿い)

広島県立美術館
HIROSHIMA PREFECTURAL ART MUSEUM
〒730-0014 広島市中区上鞆町 2-22 Tel.082-221-6246

【開会式について】

次の通り、「生誕80周年記念 藤子・F・不二雄展」の開会式を行います。

報道各位におかれましては、取材・広報にご協力いただきますようお願いいたします。

※現在の予定であり、当日変更となる可能性があります。

日時／平成27年7月18日(土)午前9時30分～

場所／広島県立美術館 3階企画展示室入口 ロビー

1 開会の辞

2 主催者紹介・挨拶

- ・広島県立美術館 館長 千足伸行（紹介・挨拶）
- ・広島ホームテレビ 代表取締役社長 大辻 茂（紹介）
- ・イズミテクノ 営業本部部长 古川貴敏（紹介）
- ・テレビ朝日 総合ビジネス局 イベント事業センター長 立花幸樹（紹介）
- ・中国新聞社 代表取締役社長 岡谷義則（紹介）

3 来賓紹介

- ・藤子プロ 代表取締役 伊藤善章 様（紹介・挨拶）

4 特別協賛者・協賛者紹介

- ・にしき堂 代表取締役社長 大谷博国 様（紹介）
- ・広島県信用組合 理事総務部長 谷口 哲 様（紹介）
- ・広島県信用農業協同組合連合会 様（社名紹介のみ）
- ・イズミ・ゆめタウン 様（社名紹介のみ）
- ・広島電鉄 様（社名紹介のみ）
- ・三井不動産 様（社名紹介のみ）

5 テープカット

- ・藤子プロ 代表取締役 伊藤善章 様
- ・広島県立美術館 館長 千足伸行
- ・広島ホームテレビ 代表取締役社長 大辻 茂
- ・イズミテクノ 営業本部部长 古川貴敏
- ・テレビ朝日 総合ビジネス局 イベント事業センター長 立花幸樹
- ・中国新聞社 代表取締役社長 岡谷義則

6 閉会の辞

司会／広島ホームテレビアナウンサー 渡辺美佳

(内 覧)

【展覧会概要】

この夏、広島県立美術館にドラえもん＆パーマンたちが大集合！

ドラえもん、パーマン、エスパー魔美、オバケのQ太郎…。46年に及ぶ、まんが家庭生活の中で数々の人気キャラクターを生み出し、こどもたちのために、SF(すこしふしぎ)な物語を描き続けた藤子・F・不二雄。

生誕80周年を記念して開催される今回の展覧会では、原画や、少年時代に藤子不二雄[Ⓐ]と手描きで制作した自作まんが冊子『少太陽』をはじめ、室内型4Dプロジェクションマッピングを体感できる「SF(すこしふしぎ)シアター」、体験型フォトスポット「なりきりキャラひろば」など、様々な角度から、藤子・F・不二雄の世界をご紹介します。

藤子・F・不二雄（藤本弘／ふじもとひろし）略歴

- 1933 12月1日 富山県高岡市に生まれる。
- 1944 小学校で転入生の安孫子素雄と知り合う。
- 1951 手塚治虫にあこがれ、2人でまんがを投稿。
「毎日小学生新聞」にて『天使の玉ちゃん』でデビュー。
- 1953 安孫子素雄と二人で共同ペンネーム“藤子不二雄”として作品を発表。
- 1954 本格的にまんが家をめざし、安孫子素雄と上京。
- 1964 『オバケのQ太郎』連載開始。
その後『パーマン』『ドラえもん』などの傑作を次々と生み出す。
- 1987 “藤子不二雄”のコンビを解消。
- 1988 “藤子・F・不二雄”として創作活動を開始。安孫子素雄はペンネームを藤子不二雄[Ⓐ]とする。
- 1996 9月23日 62年の生涯を閉じる。



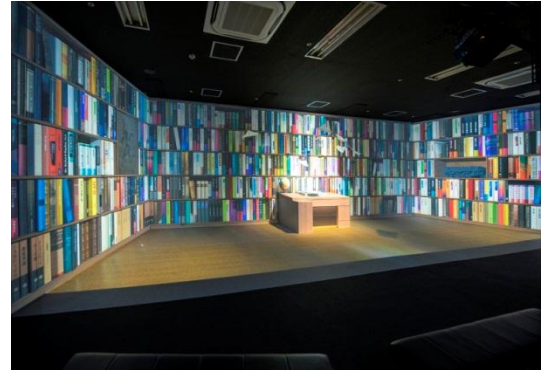
press release

【展覧会構成と内容】

SF(すこしふしぎ)シアター

大迫力の室内型4Dプロジェクションマッピング、アトラクション感覚の体感映像シアター。

ドラえもん、のび太といっしょに、タイムマシンによって、すこしふしぎな冒険の旅に出発！



SF(すこしふしぎ)シアター

© 藤子プロ

原画の部屋

藤子・F・不二雄が生み出した人気キャラクターたちの原画が勢ぞろい。記念すべきドラえもん第1話の原画をはじめ、貴重なカラー原画や、SF短編の世界も見逃せません。さらに『オバケのQ太郎』の初期のモノクロアニメも上映！

藤子まんがのはじまり

『少太陽』

藤子・F・不二雄が藤子不二雄[Ⓐ]と少年時代に制作した、貴重な自作まんが冊子『少太陽』。手彩色のカラー表紙に始まり、長編まんが、短編まんがをはじめ、絵物語、小説、さらには次号予告、広告、読者欄まで、全て手描きで制作されました。こうしたアイデアはもちろん、それぞれの内容を描き分ける描写力、そして何より、作品に向けられた二人の熱いエネルギーに脱帽です。展覧会では、オリジナル冊子が展示されるほか、5月号と新年特大号の全頁を画像でじっくりご鑑賞いただけます。



© 藤子プロ

なりきりキャラひろば

藤子・F・不二雄の作品世界に入って、人気キャラクターと一緒に撮影できる体験型フォトスポット。

限定ショップOPEN！

展覧会でしか買えない限定グッズも充実。



©藤子プロ・藤子スタジオ

※会場内は写真・ビデオ撮影禁止のエリアがございます。あらかじめご了承ください。

※記載の内容については予告なく変更になる場合があります。

【媒体掲載用の画像提供について】

※いかなる場合も本プレスリリースからの転用はご遠慮ください。

※都合により出品作品が異なる場合がございます。ご了承ください。

※画像については提供が可能です。ご掲載の際に画像がご入り用の場合は、当館までお問い合わせください。

※画像掲載の際には、画像とテキストが掲載されたレイアウト原稿を事前に当館までご提出いただき、1週間程度お時間を頂戴いたします。ご了承ください。

【関連イベント】

みんな大好き！人気キャラクターとの握手会

ドラえもん 7月18日(土)・25日(土)、8月12日(水)

パーマン 7月19日(日)・26日(日)、8月29日(土)

オバケのQ太郎 7月20日(祝)、8月11日(火)・30日(日)

各日①9:30 ②11:30 ③15:00

※7月18日と7月25日は②11:30と ③15:00の回のみ

※各回先着50名(各回30分前より1F受付で整理券を配布します。入場券の半券をご提示ください。)

※キャラクターは予告なく、変更になる場合があります。

ウェブライター大募集

7月24日(金) 17:00-19:30

受付場所:3Fロビー

対象:ホームページ、ブログ、ツイッター、フェイスブックなどで本展のPRにご協力いただける一般の方

特典:実施当日に限り、本展へご招待

【特設サイト】

www.fujiko-f80.com

【同時開催】(2階展示室)

「広島・長崎 被爆70周年 戦争と平和展」7月25日(土)-9月13日(日) 要別途料金

「日本とアジアの工芸作品」7月4日(土)-9月27日(日) 特別展入館者は無料

【開催概要】

展覧会名称

生誕80周年記念 藤子・F・不二雄展

展覧会英語名

FUJIKO・F・FUJIO 80th ANNIVERSARY EXHIBITION

キャッチコピー

この夏、広島県立美術館にドラえもん&パーマンたちが大集合！

料金

一般 1,200(1,000)円 高・大学生1,000(800)円 小・中学生600(400)円

※()内は前売り・20名以上の団体料金

・学生券をお求めの際は学生証のご提示をお願いします。

・身体障害者手帳、療育手帳、精神障害者保健福祉手帳及び戦傷病者手帳の所持者と介助者(1名まで)の当日料金は半額です。

前売券販売所

広島県立美術館、セブン・イレブン(セブンコード: <http://7ticket.jp>)、ローソン(Lコード: 67885)、チケットぴあ(Pコード: 766-761)、広島市・呉市内の主なプレイガイド・画廊・画材店、ゆめタウン、フジ、中国新聞社読者広報部、中国新聞各販売所(取り寄せ)など

開催クレジット


広島ホームテレビ開局45周年記念事業

主催 広島県立美術館、広島ホームテレビ、イズミテクノ、テレビ朝日、中国新聞社

後援 中国放送、広島テレビ、テレビ新広島、広島エフエム放送、FMちゅーピー76.6MHz、エフエムふくやま、

尾道エフエム放送、FMはつかいち76.1MHz、FM東広島89.7

特別協賛  にしき堂

協賛  広島県信用組合、JAバンク広島、イズミ・ゆめタウン、広島電鉄、三井不動産

特別協力 藤子プロ／川崎市 藤子・F・不二雄ミュージアム

企画・制作 生誕80周年記念「藤子・F・不二雄展」制作委員会

(藤子プロ、小学館、テレビ朝日、シンエイ動画、アサツデー・ケイ、小学館集英社プロダクション、乃村工藝社)

問い合わせ先

広島県立美術館

〒730-0014 広島市中区上幟町2-22 TEL.082-221-6246 FAX.082-223-1444

E-mail. ke.yamamoto@nomura-g.jp (山本宛)

担当 学芸課 石川哲子、事業推進課 山本恵子